

4 再編の基本方針

人口減少社会を見据えた中においても、地域防災の要である消防団を将来にわたり維持していくため、次の方針により再編を進めていく。

- (1) 再編により効率的な組織体制を構築するとともに、地域コミュニティを考慮し、消防力の低下を招かないように配慮する。
- (2) 管轄区域で活動できる団員数を確保することにより、団員の負担軽減を図る。
- (3) 再編後は、分団機庫、車両を当面の間地域に残すことにより、地域防災力の維持を図る。
- (4) 大規模化する自然災害への対応にあたり、組織体制を強化することにより効果的な運用を図る。
- (5) 再編による分団機庫、車両の配置を見直すとともに、使用頻度の低下した分団機庫、車両については団員の管理上の負担等を考慮し、原則廃止していくものとする。

5 再編に係る対策

- (1) 組織機能の見直し
指揮命令系統の一本化など、円滑な消防団活動を行う体制を構築するため、団本部、支団、分団、機能別分団のそれぞれの機能について見直しを行う。
- (2) 消防団への女性の入団促進
女性の活躍を促すことにより、地域住民の安全・安心の向上に努める。
- (3) 出動体制の見直し
風水害や地震など大規模な自然災害等においても、近接する分団と協力連携できる体制づくりを行う。
- (4) 常備消防との連携
常備消防との連携を強化し、大規模化する災害にも対応できる体制を構築する。
- (5) 装備品の充実強化と災害対応能力の向上
資機材や装備品の計画的な拡充を図り、災害対応能力の向上を図る。
- (6) イメージアップと処遇の改善
消防団活動の必要性について市民の理解を深めてもらうため、消防団のイメージアップを図るとともに、団員報酬や出動手当等の処遇の改善を図る。